

山田寅次郎展

茶人、トルコと日本をつなぐ

2023年8月11日 [金・祝] - 11月19日 [日]

関連イベント part 1

トークプログラム(全5回)

会場 ワタリウム美術館

山田寅次郎 オスマン 倶楽部 2023

OTTOMAN CLUB

オスマン時代に広がる文化や美術をもっと知りたい、身近に感じたい。



2.



1



月の都、イスタンブルへ 2023. 8.23 (水) 19:00-20:30

130年前、多民族、多宗教、多文化が混在するオスマン帝国で寅次郎はどのような活躍をし、また経験してきたことは日本帰国後、彼の人生に大きく影響を与えたのか、残された資料をもとにお話しします。

話：和多利月子 わたりつきこ ワタリウム美術館 山田寅次郎展キュレーター

2



トプカプ宮殿とトルコ美術 9.1 (金) 19:00-20:30

トルコ人はアナトリア半島からバルカン半島に至る東西世界の接する位置に、オスマン帝国(1299年頃-1922年)を築きました。首都イスタンブルに構築されたスルタンの居城であるトプカプ宮殿は、政治、行政、軍事、経済、文化の中心として栄え、特にそこから発信された文化や芸術は、当時のヨーロッパや東方世界を席巻しました。トプカプ宮殿内の工房で創作されたトルコ美術は、トルコ民族の中央アジア時代からの長い歴史の伝統と新たに吸収した西方文化との融合を表出し、その斬新さが東西世界の人々を魅了しました。山田寅次郎の目に映ったトルコ美術の印象にもこうした側面を読み取ることができます。

講師：ヤマンラール水野美奈子 やまらんーる みずのみなこ 元龍谷大学教授 NPO日本トルコ交流協会代表・国際トルコ美術史学会常任理事
1944年東京生まれ。慶應義塾大学文学研究科修士課程終了、イスタンブル大学にて文学博士号取得

3



タウトからオドゥンパサル美術館へ 9.28 (木) 19:00-20:30

建築家になるきっかけとなったブルーノ・タウト、そしてトルコ・現代アート「オドゥンパサル美術館」(2019)の建築についてお話しいたします。

講師：隈研吾 くまけんご 建築家

4



オスマン朝の宮殿建築 10.6 (金) 19:00-20:30

オスマン朝の帝都イスタンブルにはトプカプ宮殿やドルマバフチェ宮殿をはじめとして、たくさんの宮殿建築が造営されました。イスタンブル旧宮殿やユスキュダル宮殿のように現存しないものも多く、またイスタンブル以外の主要都市にも宮殿があったことはあまり知られていません。訪れる人々を驚かせた宮殿がどのような空間と機能を持ち、どのような伝統に基づいて建設されたのかを、豊富な実例を通して紹介します。

講師：川本智史 かわもと さとし 東京外国語大学国際社会学部講師 工学博士(東大2013年) 著書に「オスマン朝宮殿の建築史」ほか

5



オスマン帝国における「西洋化」としての「近代化」改革と アブデュルハミト2世の時代 10.13 (金) 19:00-20:30

オスマン帝国は、イスラム世界の中で最も早く、「西洋の衝撃」に対抗すべく「西洋化」による自己変革を試み始めた国家であった。「西洋化」による「近代化」改革は、早くも18世紀前半にごく部分的ながら試みられ始めた。18世紀末からは第28代セルム3世により体系化しようとしたが、これは1806年に挫折した。しかし、1826年、第30代マフムト2世は、旧守派の中心としたイエニチェリ軍団を廃止し、全面的な「西洋化」改革に着手し、1839年のその逝去後はタンスィマート改革を受け継がれ、1876年には、憲法発布に到った。これに続く第34代アブデュル・ハミト2世は、イスラム主義と専制政治で知られる。しかし、彼は「上からの改革」をめざしたが、「西洋化」改革の推進者であり、いくつかの分野でマフムト2世以来の改革の成果が実を結んだ時代でもあった。まさに、日本との接触が本格化し、山田寅次郎が来土し長期滞在したの、アブデュル・ハミト2世の治世においてであった。

講師：鈴木 董 すずき ただし 東京大学名誉教授・トルコ歴史学協会名誉会員

1947年藤沢生まれ。東京大学法学部卒、東京大学大学院法学政治学研究所博士課程修了、法学博士。1972-75年イスタンブル大学文学部に留学。

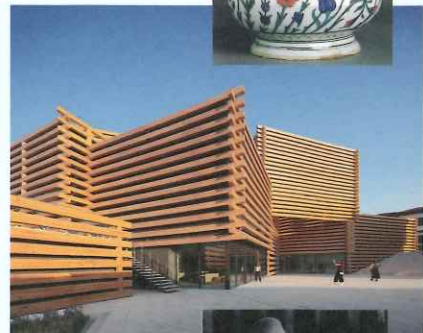
1983年東京大学東洋文化研究所助教授、1991年同教授、2012年定年退職し東京大学名誉教授となり現在に至る。オスマン帝国史を専門とし、比較史・比較文化に関心をもち、



3.



4.



5.



6.

トークプログラム(全5回)「オスマン倶楽部 2023」参加者募集(定員40名)

- 会場参加チケット ¥13,000 (全5回のトークプログラムすべてにご参加いただけます)
- 特典1: 「山田寅次郎展」を、会期中、何度でも無料でご鑑賞いただけます。
- 特典2: 10.20(金)19:00-トルコ音楽の夕べ「SAZ NOTE」(大平清)にご招待します。

※お一人様のみ有効です。「山田寅次郎展」会期中有効の参加証をお渡しいたします。

初回ご来場時、ワタリウム美術館1F受付カウンターにて、チケット購入画面をご提示ください。



大平清 トルコ音楽演奏家

- 1, 4. [土耳其畫観]に見られるイズニク陶器
2. 山田寅次郎
3. トプカプ宮殿ハレム 皇帝の広間
5. トルコ オドゥンパサル美術館 | 隈研吾建築都市設計事務所 © NAARO
6. アブデュルハミト2世

参加チケット ご購入方法 ① 専用サイト・QRコード

ArtSticker専用サイトで、ご購入いただけます。
https://artsticker.page.link/watarium_event5

● 販売スタート: 2023.7.21~



参加チケット ご購入方法 ② [会員対象]

ワタリウム美術館会員の方には割引がございます。
watarium3@gmail.com へお申送ください。

- サポート会員 ¥6,500
- アートパス会員 ¥10,400
- オスマン倶楽部 2022 会場参加会員 ¥10,400

参加チケット ご購入方法 ③

ワタリウム美術館1F受付カウンターでもご購入いただけます。

*定員になり次第切ります。*原則、チケットのキャンセルはお受けできませんので、あらかじめご了承ください。

WATARI-UM
The Watarium Museum of Contemporary Art



ワタリウム美術館

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-7-6

Tel:03-3402-3001 Fax:03-3405-7714

Email:official@watarium.co.jp

<http://www.watarium.co.jp/>